

積み木遊びを通して

記入者 大屋戸 みどり



「先生の背より高くできるかな？」

「天井に届くくらい高くしてみたい！」

ひがしっ子クラブには、たくさんの積み木があります。この間、年長さんが、それをレンガのように組み合わせ、お城のような立派な作品を作っていました。

自分たちの背よりも高くなってしまうと、いすを持ってきてその上に乗る、さらに高くなるように積み重ねていました。それでも手が届かなくなると、先生や背の高いお友達に頼んで、限界まで高くしようとしていました。

それを見ていた年中さんは、「すごい！」と感心した様子。自分たちでも同じようなものを作れないかと試行錯誤したり、年長さんに「手伝ってもいい？」と声をかけたりと、興味津々でした。

カッコいい年長さんに憧れる年中さんの気持ちや、学年を超えた関わりを持つことを、大切にしていきたいです。